

新春特集

2020 START

令和の時代となり、初めて迎える新年となりました。本年が皆様にとって、明るく幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

市政運営においては、施策・事業に着実に取り組み、本市がさらに発展していくよう、市民の皆様と一緒に汗をかき、全力で取り組んでまいります。

2019年を振り返って

昨年は、10月に日本列島を直撃した台風第19号により、全国各地で過去に例を見ない風水害に見舞われました。市内でも、観測史上最多の降雨量を記録し、田川・姿川流域を中心に浸水被害が発生しました。改めて被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

一方、明るい話題としては、11月に3人制バスケットボールクラブの世界一を決定する「3X3ワールドツアーファイナル」が本市で開催され、世界から注目を浴びました。

また、スポーツクライミングでは、本市出身の植崎兄弟が国内外の大会で活躍され、兄の植崎智亜選手は8月の世界選手権で優勝し、国内初の東京五輪日本代表に内定するなど、本市にゆかりのある人たちの活躍が目立ちました。

まちづくりにおいては、JR宇都宮駅東口地区について、昨年1月に事業者と契約を締結し、2022年度のまちびらきに向、コンベンション施設をはじめとする施設の設計に着手し、10月には一部工事が開始するなど、着実に事業を推進しています。



\2020年はこんなことに取り組みます/

「まちづくり好循環プロジェクト」



NCCが支える 共生社会創出プロジェクト^(※1)

■子育て支援の充実

年度当初の待機児童の4年連続ゼロの達成に向けて、引き続き、ニーズに対応した保育施設などの整備を進めるとともに、子どもの家などがこれまで以上に安心して利用しやすくなるよう、運営体制の充実に取り組みます。

■公共交通ネットワークの整備

公共交通ネットワークの要となるLRTについて、JR宇都宮駅東側の開業に向けて、車両の製造や停留場の名称決定などを進めていきます。

また、鉄道や路線バスなどで使用できる「地域連携ICカード」の全国初の導入に向けた準備に取り組みます。



ICTで暮らしまちも 元気プロジェクト

■あらゆる分野でICTを積極的に活用促進

データを活用した効果的な健康づくりの推進や、センサーやドローンなどを活用したより迅速な災害対応、ICT機器などを活用した中小企業の生産性向上や農業者の負担軽減を図るなど、あらゆる分野でICTを活用した活力あるまちの形成に取り組みます。

■スマートシティの推進

産官学の連携により、小型モビリティや自動運転などを活用した、誰もがストレスなく移動できる仕組みの構築に向けた実証実験を行うなど、他都市に先行して先進技術を活用した新たなまちづくりを進めます。



ブランド発掘・創造・発信 プロジェクト

■宇都宮の魅力を世界に発信

「ジャパンカップサイクルロードレース」が世界最高峰の「ワールドツアーア」に次ぐ「UCIプロシリーズ」に日本で唯一認定されます。また、今年は「3x3ワールドツアーマスターズ」の開催と併せ、東京オリンピック出場国の事前トレーニングキャンプや身近な場所で競技を体感できる機会の提供などに取り組みます。

■総合的な治水・雨水対策の推進

昨年の台風第19号をはじめとする水害の検証を踏まえ、河川や雨水幹線の着実な整備や防災ルート、防災ラジオの普及促進など、ハード・ソフト両面からの総合的な治水・雨水対策にスピード感を持って取り組みます。

「協働のまちづくり」

エス・ディ・ジーズ

キーワードは「SDGs」と「スマートシティ」

SDGsについて
次のページで
詳しく紹介するよ

まだまだ耳慣れない言葉の「SDGs」と「スマートシティ」。しかし、宇都宮の「協働のまちづくり」を語る上で、2020年、欠かせないキーワードとなりそうです。

「SDGs」については、「SDGs人づくりプラットフォーム」の構築を進め、もったいない運動市民会議を中心に多様な主体が参画し、イベントや勉強会などを開催していきます。

「スマートシティ^(※2)」については、官民連携組織「Uスマート推進協議会」に、昨年11月に新たに16企業が参画し、全24団体に。ICTやデータを活用したまちづくりを加速化しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



世の中の移り変わる速度はさらに加速化しています。そのように中であっても輝き続けられるまちとなるために、分野や主体の垣根を越えてまちづくりを進めていく必要があります。

そのため、「まちづくり好循環プロジェクト」の推進に部局の垣根を越えて取り組みます。また、市民や団体、事業者などがそれぞれの強みを生かした「協働によるまちづくり」に、より一層取り組みます（上の記事参照）。

市の中の移り変わる速度はさらに加速化しています。そのように中であっても輝き続けられるまちとなるために、分野や主体の垣根を越えてまちづくりを進めていく必要があります。

そのため、「まちづくり好循環プロジェクト」の推進に部局の垣根を越えて取り組みます。また、市民や団体、事業者などがそれぞれの強みを生かした「協働によるまちづくり」に、より一層取り組みます（上の記事参照）。

LRTの整備については、JR宇都宮駅東側の工事が着実に進むとともに、同駅西側のLRT延伸の一環として、周遊・宿泊促進に取り組み、期間中の観光客入り込客数はDC前の2016年を約20万人上回る356万人となりました。その他、7月には県内初のS D G s 未来都市に選定されるなど「未来都市うつのみや」の具体化が着実に進み、その名が国内外に大きく取り上げられた年でした。

そして2020年へ

LRTの整備については、JR宇都宮駅東側の工事が着実に進むとともに、同駅西側のLRT延伸に向けた検討が進んでいます。

イチから分かる



サステナブル ディベロップメント ゴールズ
Sustainable Development Goals

今話題の SDGs って何？

「持続可能な開発目標」



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

＼ヒトコトで言うと／

A. 地球全体で取り組む17の目標です。

「持続可能」って？

「持続可能」とは、「持続できることが可能」という
こと。例えば、今のみんなの暮らし
と同じように、未来の人たちも
この地球で暮らし続けることがで
きるということだよ。

うん。地球上には課題が山積
み。先進国も開発途上国も、
大人も子どもも、みんなが一緒に
考えて、取り組んでいかないと解
決しないよね。SDGsは、世界
の国々の代表者や有識者たちが知
恵を寄せ合ってできた「持続可能
な開発目標」なんだよ。

ハッピ 2030年までに解決を目
指す17個の世界共通の目標
のことだよ。2015年9月の国
連サミットで定められたんだ。
あと10年だね。

ミヤリー エス・ディ・ジーズ
くことが増えたけど、どう
いうものなの？



宇都宮はSDGsもスゴイ

815市区中3位のまち

平成30年には、日本経済新聞社による全国815市区を対象にした「SDGs先進度調査」で、全国総合第3位の評価を獲得。もったいない運動やLRTの推進など、本市のこれまでの取り組みが高く評価されました。

全国市区の「SDGs先進度」総合ランキング

総合順位	自治体名(都道府県名)	総合得点(100点)
1位	京都市(京都府)	70.37
2位	北九州市(福岡県)	70.13
3位	宇都宮市(栃木県)	68.82
4位	豊田市(愛知県)	68.57
5位	岡山市(岡山県)	68.53

SDGs未来都市に選定

昨年7月、持続可能な開発を実現するポテンシャルの高い都市として、県内で初めて「SDGs未来都市」に選定されました。今後も宇都宮の特性を踏まえたSDGsを推進していきます。



選定証を受けた佐藤市長(左から2人目)

今日から実践！ 今すぐできるSDGs

level
1

ソファに寝たままできること

＼主な目標／



ウォーキングや好きなスポーツなど、週末に体を動かす計画を立てよう。適度に運動することで、心や体の健康につながります。



電気を節約しよう。使っていない電気機器は完全に電源を切ったり、気温の変化に応じて着るものと調節することで、電気の無駄遣いを防げます。



気候変動に伴う災害発生に備えよう。近隣の避難場所などを確認しておくことで、災害が発生した際、適切な行動につながります。

level
2

家にいてもできること

＼主な目標／



食べきれないものはおいしく新鮮なうちに、冷凍しよう。食べ物もお金も無駄になりません。



資源ごみの分別をしっかりとしよう。紙やペットボトル、瓶缶などをリサイクルすれば、焼却ごみの量を減らすことができます。



使い終わった食用油はそのまま排水口に流さず、スーパーなどの回収ボックスに出そう。川や海を汚すこと防げます。

level
3

家の外でできること

＼主な目標／



買い物は地元でしょう。地域でできたものを、地域で使うことで、地域の企業を支援することにつながり、雇用(働く場所)が守られることにつながります。



みんなの意見を平等に聞きながら話し合いをしよう。年齢や障がいの有無、出身国の違いによらず、互いに認め合うことで、充実した話し合いにつながります。



マイバッグやマイ箸の他、詰め替え可能なボトルやコーヒーカップを使おう。再利用できるものを積極的に使うことで、資源の節約につながります。

都宮から世界に向けて、自分たちにできることをしたらいいんだね。



小さい行動だって、集まつたら大きな力だもんね。宇都宮から世界に向かって、自分たちにできることをしたらいいんだね。



普段から気を付けていることだつて、実はSDGsに関係しているんだ。「エアコンを使いすぎない」「車を使わず歩く」。

それぞれのSDGsに取り組むことが大切だよ(上の記事参照)。

SDGsで大切なことは「誰一人取り残さない」ということ。

73億人のうち42億人が安全なトイレを使えないんだ。そのうち6億7300万人は屋外で用を足しているんだよ。

え……2人くらいかな？

それが使えない人はどれくらいいると思う？

うん。ところで、世界を35人のクラスに例えると、ト

そっか。今ある資源を使いきっちゃって、未来に何も残さない開発なんてするいもんね。



新春 対談

未来都市うつのみや それぞれの2020年へ

平成から令和へ新たな時代となり、ひとつの節目を迎えた2019年。さまざまな分野で宇都宮の魅力が県内外に発信された1年となりました。今回は、大いに活躍した星が丘中学校合唱部と宇都宮ブレックスをお迎えし、市長とともに昨年を振り返り、今年の抱負を伺いました。

一皆さん、昨年は大活躍の1年でしたね。



川俣 貴明さん
星が丘中学校 合唱部顧問

北崎 星が丘中学校は、全日本合唱コンクール全国大会で、フランス語の曲「愛の塔」を歌い、最高賞である文部科学大臣賞を受賞することができました。

川俣 各地方の厳しい予選を勝ち抜いてきたので、技術はどの団体も卓越しています。その上で大切なのは、いかに曲の本質に迫れるかだったと思います。フランス語の正確な発音はもちろん、産業や文化を調べたり、曲の情景を絵で表現したりと、「香りが漂つてくるような演奏」を目標に、いろいろな角度から練習に励みました。

北崎 特に発音は、複雑な母音や子音があるので、練習に苦労しました。

結果が発表された瞬間は信じられなくて、驚きました。昨年、一年と関東大会で涙をのんだ先輩



佐藤 栄一 市長

市長 11月には、市議会議場で歌声を披露していただきました。まさに日本一の素晴らしい歌声に、議場の雰囲気がとても明るくなりましたが。

鎌田 本当に宇都宮市の誉れです。心から敬意を表したいと思います。

一さて、宇都宮ブレックスは、いきいき健康教室やあいさつ運動など地域に密着した活動を積極的に行っていますよね。

はい。幅広い世代の皆さんと一緒に地域を盛り上げたいと思っています。特に「いきいき健康教室」では、地域の皆さんと、選手やチアリーダーなどが接する機会を作り、簡単な軽運動ができるバスケットボール教室などを実施しています。



宇都宮市議会議場でのコンサート



小学校でのあいさつ運動



いきいき健康教室



鎌田 真吾さん

株式会社栃木ブレックス
代表取締役社長

北崎 今年は高校生になるので、合唱の経験を生かして、新しいことにチャレンジする1年にしたいと思います。

鎌田 ありがとうございます。アリーナに足を運んでいたたく皆さんには、非日常のアリーナエンターテインメントを体験していました

だきたいですね。試合観戦だけではなく人でも自由に移動できる街をつくるための「ネットワーク型コンパクトシティ」、中でも令和4年の開業に向けてLRTの整備を進めています。また、令和3年

春には、宇都宮独自のサービスを付加した新たな交通ICカードを市内のバスに導入します。これにより、Suiicaなどの既存のICカードでも乗れるようになり、利便性が向上します。

そして新たに、市内のバスに上限運賃制度を設け、誰もが自力で移動できる外出しやすい宇都宮を目指していきます。

一最後に、皆さんの今年の抱負を教えてください。

川俣 星が丘中学校合唱部は、3

年生が引退し、新メンバーで活動をスタートしています。大変なことも多いですが、これから部員がどう成長していくかが楽しみでもあります。今年も謙虚な気持ちで、努力したいと思います。

北崎 今年は高校生になるので、合唱の経験を生かして、新しいことにチャレンジする1年にしたい



▲対談の模様は、宇都宮ケーブルテレビで1月5日まで放送中。その後、市ホームページ「宇都宮愉快動画館」でも公開を予定しています。ぜひご視聴ください。

ID 1022195

▲宇都宮
愉快動画館

市長 健康寿命の延伸はこれから社会に大事なことです。また、ブレックスの試合観戦などを目当てに県外からの来訪者も多く、地域の活性化にもつながっています。

北崎さんは、ブレックスの試合を会場で観戦したことはありますか？

北崎 はい。ブレックスアリーナ宇都宮は、選手とお客様との距離がとても近くて、楽しかったです。

鎌田 ありがとうございます。アリーナに足を運んでいたたく皆さんには、非日常のアリーナエンターテインメントを体験していました

だきたいですね。試合観戦だけで、選手とお客様との距離がとても近くで、楽しかったです。

鎌田 ありがとうございます。アリーナに足を運んでいたたく皆さんには、非日常のアリーナエンターテインメントを体験していました

はなく、飲食なども楽しんで、明日からの活力にしてもらえるよう、引き続き頑張っていきたいと思います。

市長

昨年には「宇都宮ブレックス」へのチーム名称変更もあり、市としても、今まで以上に応援をしていきたいと思います。地元の皆さんにも、自分の街のチームだという気持ちで応援を続けてもらいたいですね。

一ブレックスの観戦などで本市を訪れた人たちや市民の皆さんにとっても、公共交通機関がますます大切になりますね。

市長 そうですね。公共交通で移動できることは、おもてなしに欠かせません。また、車を運転できない人でも自由に移動できる街をつくるための「ネットワーク型コンパクトシティ」、中でも令和4年の開業に向けてLRTの整備を進めています。また、令和3年

春には、宇都宮独自のサービスを付加した新たな交通ICカードを市内のバスに導入します。これにより、Suiicaなどの既存のICカードでも乗れるようになり、利便性が向上します。

そして新たに、市内のバスに上限運賃制度を設け、誰もが自力で移動できる外出しやすい宇都宮を目指していきます。

一最後に、皆さんの今年の抱負を教えてください。

川俣 星が丘中学校合唱部は、3

年生が引退し、新メンバーで活動をスタートしています。大変なことも多いですが、これから部員がどう成長していくかが楽しみでもあります。今年も謙虚な気持ちで、努力したいと思います。

北崎 今年は高校生になるので、合唱の経験を生かして、新しいことにチャレンジする1年にしたい

星が丘中学校3年 合唱部部長
北崎 純奈さん

鎌田 ブリーグも佳境に入つてきますので、良い結果をご報告で生きるよう頑張っていきたいです。

3X3も強くて魅力あるチームを作つていただきたいと思います。

市長 宇都宮市は、今生きる皆さんため、そして次の世代を背負っていく子どもたち、これから生まれてくる子どもたちのためのために、市民の皆さんとの協力も必要です。これからもご支援を賜りますようお願いいたします。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

一同 ありがとうございます。アリーナに足を運んでいたたく皆さんには、非日常のアリーナエンターテインメントを体験していました

だきたいですね。試合観戦だけで、選手とお客様との距離がとても近くで、楽しかったです。

鎌田 ありがとうございます。アリーナに足を運んでいたたく皆さんには、非日常のアリーナエンターテインメントを体験していました

だきたいですね。試合観戦だけで、選手とお客様との距離がとても近くで、楽しかったです。